

「高潮水防の強化に関する技術検討委員会」の設立について

1. 設立趣旨

わが国は、三大湾にゼロメートル地帯が存在するなど、高潮による影響を受けやすい国土を有している。千人を超える死者が発生するような甚大な高潮災害は昭和 34 年の伊勢湾台風を最後に発生していないが、地盤沈下の進行によるゼロメートル地帯の拡大、大都市圏の水害リスクの高い地域における中枢機能の集積や地下空間の高度利用の進行、災害の発生頻度の減少等により住民が危機を感じる力が弱まっているなど、高潮災害に対して、国土、都市、人が脆弱化している状況である。

一方、海外においては、近年においても 2005 年にアメリカ合衆国を襲った「ハリケーン・カトリーナ」による高潮災害（死者 1,800 人以上、避難者約 130 万人）や 2013 年にフィリピンを襲った台風 30 号による高潮災害（死者・行方不明者 7,000 人以上、避難者約 400 万人）のように、多数の死者・孤立者と大量の避難者が発生する大規模な高潮災害が発生している。

さらに、地球温暖化に伴う海面水位の上昇、台風の激化等により高潮災害の頻発、激甚化することが懸念されている。

国土交通省においては、水害・土砂災害、火山災害に関する今後の防災・減災対策の検討の方向性をとりまとめた「新たなステージに対応した防災・減災のあり方」を平成 27 年 1 月にとりまとめた。この中で、未だ経験したことのない規模の災害から命を守り、社会経済に壊滅的な被害が生じないように最大規模の外力を想定して、ソフト対策に重点をおいて対応するという考え方が示された。具体的な取り組みとしては、最大規模の洪水・高潮等に関する浸水想定を作成・公表と住民の災害リスクの認知度を向上させる水防強化の施策を推進していくこととしている。

今般、最大規模の高潮に関する浸水想定を作成にあたって必要となる想定し得る最大規模の高潮の設定方法、堤防等の決壊・越流条件等の技術的な事項について関係有識者の意見を聴くことを目的として、「高潮水防の強化に関する技術検討委員会」を設立するものである。

2. 事務局

農林水産省 農村振興局 整備部 防災課

農林水産省 水産庁 漁港漁場整備部 防災漁村課

国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課 水防企画室

国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部 保全課 海岸室

国土交通省 港湾局 海岸・防災課

3. 検討スケジュール

【第1回 2月5日】

想定し得る最大規模の高潮の設定方法、
想定し得る最大規模の高潮の潮位条件、堤防等の決壊・越流条件について

【第2回 3月（予定）】

第1回の検討に基づくシミュレーション結果について

【第3回 5月（予定）】

とりまとめ